

NACOME

全国大学音楽教育学会 関西地区学会
令和5年度 総会、及び前期研究会

令和5年7月30日（日）13：00～16：20

大阪キリスト教短期大学講堂

主催 全国大学音楽教育学会 関西地区学会

プログラム

I. 令和5年度総会 (13:00~14:05)

1. 令和4年度活動報告 (山岸 徹)、令和4年度決算報告 (篠原美幸)
2. 会計監査報告 (福間久美)
3. 令和5年度活動計画案 (山岸 徹)、令和5年度予算案 (篠原美幸)
4. 関西地区学会役員の改選
5. その他

休 憩

II. 研究演奏発表 (14:20~14:55)

1. ピアノ独奏 的場 里美 (神戸教育短期大学)
4つの小品 第4番 狂詩曲 作品119-4 ブラームス作曲
2. ピアノ連弾 白倉 朋子 (聖和短期大学)
深田 直子 (大阪総合保育大学)
ハッピー・バースデイ変奏曲 ルートヴィヒ作曲
3. 作品発表 楠井 淳子 (大阪成蹊短期大学)
作品名: SONG
独 唱 伊原木 幸馬 (千里金蘭大学)
ピアノ 岩本 千佳子 (大阪成蹊短期大学)
4. 声楽演奏 安川 裕子 (神戸女子短期大学)
ピアノ 永井 正幸 (大阪青山大学)
さくら 三浦 照子 作詩・山岸 徹 作曲
木 蓮 三浦 照子 作詩・山岸 徹 作曲

III. 講演 (15:00~16:10)

講師: 小池 美知子 氏 (全国大学音楽教育学会副理事長)
演題: ワークショップ「幼児の主体性を育む音楽活動って!」

【小池 美知子 先生：プロフィール】

国立音楽大学教育音楽学科卒業，愛媛大学大学院教育学研究科修了（教育学修士），武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科博士後期課程在学。松山東雲女子大学教授を経て，現在，松山東雲女子大学非常勤講師，愛媛大学教育学部非常勤講師。全国大学音楽教育学会副理事長，日本ジャック＝ダルクローズ協会理事。全国大学音楽教育学会中・四国地区学会，日本ダルクローズ音楽教育学会，日本保育学会，日本乳幼児教育学会会員。

著書『歌う，弾く，表現する保育者になろう』（音楽之友社），『はぐくむアタッチメント 0～5 歳児の手あそび・歌あそび』（音楽之友社）。論文「保育者の音楽的感受性が幼児の音楽表現に及ぼす影響（保育学研究）」，「保育学生の音楽的感受性と信念が音楽表現に及ぼす影響（全国大学音楽教育学会研究紀要）」，「幼児のための創造的な音楽プロジェクトの開発：オノマトペを用いた即興的なアンサンブルの構成（松山東雲女子大学人文科学部紀要）」他。

講演要旨

演題：ワークショップ「幼児の主体性を育む音楽活動って！」

幼稚園教育要領（2018）感性と表現に関する領域「表現」によれば，「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して，豊かな感性や表現する力を養い，創造性を豊かにする。」と記されています。ここから，「幼児の自分なりの表現が，幼児の創造性を豊かにすること」にダイレクトに関係することが分かります。では，「幼児の自分なりの表現」に関わる保育者には，いったい何が求められるのでしょうか？

保育の音楽表現に目を向けると，一方では幼児自らが表す音楽的な自己表現，もう一方では保育者から幼児に仕掛ける音楽表現，この二通りがあることが分かります。そして，これら音楽表現の双方に求められるのは，幼児に関わる保育者の音楽的感受性と音楽表現スキルでしょう。

本講演では，一つには保育者の音楽的感受性と幼児の音楽的の関連，二つには幼児の音楽的表現の実際，これらをご紹介します。さらに，これらのエビデンスに基づいたワークショップ（身近な音を素材とする音楽づくり）を，みなさま方と一緒に体験し考えていければと思います。

研究演奏発表要旨

1. ピアノ独奏 的場 里美 (神戸教育短期大学)

4つの小品 第4番 狂詩曲 作品119-4 ブラームス作曲

ブラームスは晩年、多くのピアノ小品を作曲した。作品116の7曲、作品117の3曲、作品118の6曲、作品119の4曲からなる全20曲の最後となる本曲は、ラプソディ(狂詩曲)の題名を持ち、狂詩曲とは、自由な形式でいくつかの楽想が次々と表現されていく豊かな楽曲である。本曲も、壮大で格調高い変ホ長調の和音で始まるが、この主題は全世界の人のために書かれたかのようにスケールが大きい。この旋律は1フレーズが5小節である。1フレーズが奇数というのは珍しいが、本曲には5小節が1フレーズの旋律が非常に多く使われている。中間部は非常に優雅な美しい変イ長調の旋律が40小節歌われるが、この旋律は左右の和音に多用されているアルペジアーレの中に埋め込まれており、その旋律となる各音を各々の指で明瞭に出し、長いフレーズで歌わなければならない非常に難しいパートである。最後は非常に情熱的で、オーケストラのような響きで締めくくる。

2. ピアノ連弾 白倉 朋子 (聖和短期大学) 深田 直子 (大阪総合保育大学)

ハッピー・バースデー変奏曲 ルートヴィヒ作曲

誰もが知っていて、最もよく歌われている曲の一つである「ハッピーバースデー」は、様々に編曲されているが、今回はルートヴィヒの4手連弾のための変奏曲を演奏する。サブタイトルに“Humorous Variations on a Birthday Song”とあるように5つの変奏はそれぞれに面白みのある作品である。

1. テーマとなる8小節の「ハッピーバースデー」は2分の3拍子 ト長調で始まる。セカンドにはすでに面白い和音の響きが用いられている。
2. 4分の4拍子 ハ短調 葬送行進曲を思わせるようなゆっくりとしたテンポの、暗い「ハッピーバースデー」である。
3. 4分の2拍子 ニ長調 ラデッキー行進曲で始まる陽気でリズムカルな「ハッピーバースデー」である。
4. 4分の3拍子 ニ長調 舟歌のような始まりであるワルツ風の「ハッピーバースデー」は合わせるのに最も苦戦したが、美しい神秘的なアレンジとなっている。
5. 4分の4拍子 ヘ長調 タンゴのリズムが華やかで面白く、後半は心が和む曲想である。

3. 作品発表 楠井 淳子 (大阪成蹊短期大学)

SONG ～こどもの詩による歌～

しょうがっこう	いぬいかずと(一年)	作詞	楠井淳子	作曲
五月八日	高橋涼平(五年)	作詞	楠井淳子	作曲
お年玉	野尻佳祐(六年)	作詞	楠井淳子	作曲

独 唱 伊原木 幸馬 (千里金蘭大学)

ピアノ 岩本 千佳子 (大阪成蹊短期大学)

今回の学会研究会では、子どもの詩による三つの歌を発表させていただく。筆者が所属する日本女性作曲家連盟阪神支部では「大阪こども詩の会」等の協力を得て「こころの芽コンサート」と題する作品演奏会を2008年より継続的に開催している。今回の発表曲はそこで初演された当時小学1年生から6年生までの児童の詩による小品である。どの詩も、作者を取り巻く日常と、その時々的心情が短いことばによって、鮮やかに浮かびあげられている。詩のことばには、こどもが普段話している関西弁が数多く使用されており、今回の発表曲では、1曲目と2曲目が該当する。飾らない素直な心情を表していることばと関西弁のイントネーションに寄り添うように、作曲した。今後もこのような音楽創作活動を継続し、ことばと音楽の研究を深めていきたいと考えている。

今回、演奏していただける本学会会員のお二人に心からお礼申し上げます。

4. 声楽演奏 安川 裕子 (神戸女子短期大学)

さくら	三浦照子作詩・山岸 徹 作曲
木 蓮	三浦照子作詩・山岸 徹 作曲

ピアノ：永井 正幸 (大阪青山大学)

歌唱の授業内に於いて童謡・わらべうた・手遊び歌・絵かきうたに加え合唱を取り入れている。筆者は日頃、アマチュア女声合唱団の指導を行っているが、本日はその合唱団によって2013年に作曲家・山岸徹氏に委嘱し完成した女声合唱曲集「季節の彩」の中から「さくら」「木蓮」を演奏する。これらの2曲は2010年に歌曲として作曲されており声楽家・永井和子氏によって初演されている。「季節の彩」では後半の締めくくりとし合唱曲に改作する事を山岸氏よりご提案いただいた。またこの曲集に収められている「初恋」「あじさいの花」は2015年全日本合唱連盟主催の、第38回全日本おかあさんコーラス全国大会・北海道 Kitara ホールで関西支部代表として出演した際に演奏した。全5曲から成る曲集は淡く繊細なハーモニーが輝きを放ち、また後半には情熱的な感情を一気に歌い上げる構成で様々な彩が織り成し人生の不可思議を物語っている。

授業内での合唱活動は一人で歌うのではないため歌唱に自信の無い学生にとっては安心感が持てるようである。またハーモニーを作る感覚を得た時には新鮮さを感じるようで、歌唱に対する興味が急速に高まっていく事を感じる。更に美しくハーモニーを奏するためには正確な音程、美しい発声が必要であると気づき自主的な学びへと繋がっている。また仲間との協力が不可欠になるため、クラス授業のまとまりに一役を担える。

今後も学生が表情豊かに歌唱に取り組めるよう自ら歌唱技術を研鑽することによって表現力を高め、学生に実演をもって伝える事ができるよう努力したいと考える。

NACOME

全国大学音楽教育学会
関西地区学会

National Association of College Music Education